

平成 31 年 1 月 7 日

改善計画書

(再発防止策と主な実施状況)

新潟県木材組合連合会

I はじめに

本改善計画書は、8 月 24 日作成・公表し、実施状況を公表してきた改善計画の現時点における詳細版として作成したものです。

越後杉ブランド認証制度は、それぞれの認証工場が、需要者の多様化する要求に応える良質な製品を製造し、全責任をもって出荷することによって、長い間成り立ってきました。

しかし、このたびの県の調査において、一部の認証工場の検査業務に不適切な事案があったことは、本制度にとって極めて重大な事態であり、住まい手の方々はじめ関係の皆様にも多大なご心配、ご迷惑をおかけしたことを重く受け止め、本事態の改善と信頼の回復に向けて、改善計画の速やかな実行に真摯に取り組みます。

II 事案の概要、発生直後の対応等

- 1 県は、県調査において、一部の認証工場で、県の定めた認証規程の検査基準による適否検査が適切に行われていないことが確認されたことを平成 30 年 8 月 7 日に発表①しました。
- 2 それを受けて、県木連に翌 8 月 8 日に本事案への対応について、別紙のとおり県から要請②がありました。
- 3 発表、要請を受け、第一に越後杉住宅の住まい手の方々、建築をお考えの方々そして多くの建築関係者など需要者の方々に思いを巡らせ、一刻も早く確実な製品を供給し、安心安全をお届けできるよう、具体的改善策に早急に取り組むことを最優先といたしました。

4 そのため、直ちに問題発生³⁾の分析と再発防止策の検討を始め、まず 8 月 10 日には県規程の遵守について注意喚起の通知を行うとともに、全認証工場を対象にした規程等の遵守や改善策について徹底をはかるための会議の開催(8/24)を通知しました。

5 8 月 24 日に開催した会議において、県木連の会員や認証工場、マスコミに対して、状況説明と改善計画³⁾についてご説明したうえで、本格的な改善に向けた取組を展開しております。なお、改善計画の主な実施状況につきましては、9 月 4 日以降、適宜、当会のホームページ等で公開しております。

- 1) 新潟県 HP 農林水産部より「不適切事案の概要.pdf」
(<http://www.pref.niigata.lg.jp/rinsei/1356901743793.html>)
- 2) 別紙_「越後杉ブランド認証制度に関する不適切事案への対応について（要請）.pdf」
- 3) 別紙_「越後杉ブランド認証材の品質管理の徹底について.pdf」

Ⅲ 基本的な考え方

本事案は、県の発表を踏まえると、根幹である県規程の「理解不足」が不適切管理の主因と考えられます。

いわば、県の定めた品質・性能基準を上回る品質の良い製品であっても、県が定めた基準により認証工場が検査確認をした木材だけが認証材となり得るという認識が、十分に徹底されなかったと思われま

す。また背景として、制度創設以来長い間、制度内容に大きな変更がない中、社会・経済環境等が大きく変化してきていることなどから、従前の対応では十分な機能を果たし得ないような状況がみられるようになってきており、これらを踏まえ、下記の考え方で改善策を計画しました。

- 1 再発防止策は、再発させない仕組み（職場風土）作りを早急に行う「緊急的な対策」と、その状態を維持し続ける「恒常的な対策」の二つの観点から策定。
- 2 全認証工場が「一定の品質基準を満たす製品を製造」し、「県の基準による検査を行って出荷」が徹底できるようにすることを骨格として策定。

3 県の要請内容について、全力で要請への対応⁴⁾を実践。

4) 別紙_「県の要請に対する取り組み状況.pdf」

IV 改善策（再発防止策）

平成28年度以降、制度や検査手法の検討・改良を行いながら定期検査の完全実施等に取り組んできましたが、このたびの事案発生を完全に防止できなかった反省を踏まえ、従来のやり方にこだわらない変革の意志をもって対策に取り組めます。

そのため、今回の事案発生の要因を踏まえ、

- ・「わかりやすさ」
- ・「充実強化」
- ・「総合的」

の3つの視点で対策を講じてまいります。

1 県規程等の遵守を徹底

（コンプライアンス体制の確立及び意識の高揚）

- ・本事案の発生を契機に、各工場におけるコンプライアンスの遵守・徹底に向けて、基本となる県規程等の周知徹底を全体に図ります。
- ・会議や研修の開催等により管理職や一般従業員等多階層向けに、コンプライアンスの充実や品質管理の徹底を図る等意識改革の取組を推進します。
- ・従前の規程等のわかりにくさ、むずかしさを払拭し、工場の職員等が現場で理解し、活用できる仕組みづくりに努め、意識の高揚を図ります。

①注意喚起の文書等により全工場に周知徹底

全工場に、県規程の遵守、適切な検査の実施や運営について注意喚起の文書等で要請、確認し周知をはかります。

（8/10 越後杉ブランド認証規程の遵守について）

（8/27 越後杉ブランド認証に関する内部規程等の整備状況の確認について）

②認証工場会議等を通じて周知徹底

認証工場全体会議等の会議や研修会を通じて認証工場全体の認識の共有化及び県規程遵守の徹底、品質管理に係る意識の高揚を図ります。

(8/24 第1回認証工場品質管理会議)

(10/2 越後杉ブランド認証制度改善検討会)

(10/29 第2回認証工場品質管理会議)

(11/26 越後杉ブランド品質管理技術員研修会)

③検査の手引き等を活用して周知徹底

使う側に立って要領等を整理・抽出し、工場の現場に必要な情報を厳選し、分かりやすく見やすく使いやすいようまとめた手引きを作成し、工場での業務必携として活用し理解を促進します。

(11/26 越後杉ブランド品質管理技術員研修会)

(11/30 製品適否検査の手引きを作成・配付)

2 検査確認体制の強化

(新たな手法による新監査体制への移行による確認体制の充実強化)

- ・従前の内規（要領）に基づく検査確認体制の不備を是正し、より広い視野から監査が行えるように、JAS 制度などを参考に検討し、新たな手法を導入して、検査確認体制の充実強化を図ります。
- ・検査確認の機会を捉えて、県規程・基準、要領などのポイントを伝え、制度内容への理解促進を図ります。
- ・工場は極力複数人で対応するとともに、新たな検査確認体制への移行に併せ、認証員の行う検査確認に一定の権限を付与します。

①新たな手法⁵⁾の確立（検査確認手法の全面改正）

既存製品の計測を主体とした従前の手法を改良し、これまでの「製品検査」を充実させるとともに、品質管理技術員が「わかる」＋「できる」の視点を加えて策定します。

なお、定期検査はこれまで県と協力して実施してきており、今後も力を合わせて実施してまいります。

(8/6、8/28、11/26 認証員会議で検査方法、チェック表、測定方法等新たな検査確認手法の内容の詳細について検討)

②新たな手法による検査確認の実施（監査方式の定着）

全認証工場に対して、新たな手法による一斉検査確認を実施し、新手法への切り替え、定着化、監査内容の詳細な検討を行います。

（8/29以降、新たな手法による検査確認を開始）

③牽制機能の強化

定期的な検査確認と継続申請時の工場認証審査を同時に実施することで効率化を図るとともに、工場認証に係る権限を付与する等、権限強化と機動的な対応を図ります。

（H31.1 要領改正等により対応）

3 総合的対策

（適正な業務執行に向けた技術向上や内部牽制の確立等の抜本的な総合的対策）

- ・各認証工場が責任をもって行う品質管理業務を、より効果的に支える仕組みを、内規の改正等により構築します。
- ・内規による品質管理業務のサポートに加え、各種対策を組み合わせ実施し、一層の効果的改善を図ります。
- ・良質な製品供給のもととなる技術力の向上や、利用する側である需要者の理解と連携強化を図ります。

①品質管理技術員の役割強化

定期的な講習受講の義務化や監査等への立会い、適否検査の担当等役割を明確化し、技術力の維持や牽制機能の強化を図ります。

（H31.1 要領改正等により対応）

②運営要領の改正等⁶⁾

要領の対象となる側に立った実効性ある効果的な整理・改正により、認証工場等の理解を促進し、再発防止に向けた抜本的な改善を図ります。

（H31.1 要領改正等により対応）

③研修・講習会の開催等

品質管理体制の構築、品質管理業務の徹底に向けた品質管理技術員

研修や品質向上研修、新たな仕組みの検討会議や参考図書の配布など各種対策を組み合わせて実行します。

(10/2 越後杉ブランド認証制度改善検討会)

(11/26、3/4(予定) 品質向上・製材技術研修会)

④その他

需要者に対して「木材」「県産材」「越後杉ブランド認証材」の情報提供等を継続的に発信・啓発することで、制度や製品に対する理解浸透、ニーズ把握、利用拡大を通じて良質な製品供給を図ります。

5) 別紙_「新たな検査確認手法について.pdf」

6) 別紙_「運営要領の改正等について.pdf」

V まとめ

本計画の内容については、関係者との共有を図るとともに、認証工場には、会議、通知等で協力を要請しながら、共に進めてきております。

取り組み状況につきましては、引き続き、ホームページへの掲載等を通じて公開していきます。

なお、本計画については、すべて着手し具体的な取組を進めております。今後も、改善策を着実かつ効果的に遂行してまいります。

以上